令和６年度　事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	05800000	総務部 新庁舎整備

大事業	E1	６つのまちづくり宣言	地域再生	款項目	02	総務費	01 総務管理費 06 企画費
		目指す姿	地域の魅力をアップデート！	ＫＰＩ	①あい愛バス利用者数 ②住みよいまちだと感じる人の割合	目標値	①120,000人 ②80.0%
中事業	02	主要な取り組み	スクラップorリノベーション＆ビルド				
小事業	04	新庁舎整備事業		目標年度	令和6年度		

インプット

事業実施の背景にある課題	現在の市役所本庁舎本館は築後63年が経過しており、施設や設備の老朽化が進んでいる。利用者にとっては狭く不便な建物である。また、防災拠点としての機能にも不安がある。令和4年3月には、市民との合意形成ができていないことを理由として、（旧）新庁舎整備基本計画（案）を白紙に戻すことを決定した。令和4年4月からは職員プロジェクトチームが検証作業を開始し、市民アンケートの結果等を踏まえて検証を行った。その結果を基に、令和5年3月にこれからの新庁舎整備の進め方を示した「新庁舎整備ロードマップ」を策定した。令和6年度は整備地の決定を目標に事業を進めている。
対　象	市民（来庁者）及び市職員
目　的	市民の安心な暮らしを守る未来を見据えた新庁舎を整備する。
概　要	市民のニーズに基づいた新庁舎の整備を推進する。 ・新庁舎の整備に向けた基本構想の再策定（２年目） ・複数候補地における各種調査 ・庁舎建設基金の積立管理

事　業　費　（千円）		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	114,831	1,269,458	116,848	130,896	467,737
	決算額	104,759	1,257,651	115,026	130,084	449,995
年間の事業に要する時間（正職員/正職員以外）		4,638 / 1,816				

アウトプット

活　動　指　標　（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
新庁舎整備に関する広報掲載による周知（回数）	目標値				11	12
	実績値				11	12

アウトカム

Ｋ　Ｐ　Ｉ　（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
新庁舎整備に関する認知度（%） ※市民満足度アンケートにより効果測定	目標値	60	70	70	72	74
	実績値	58	59	70.7	73.9	80.4

実績

実　績	・R6.5～R7.3　おでかけワークショップを5回行い、117名が参加し、R6.7～8　市民ワークショップを3回開催し、40名が参加。 ・R6.12　各候補地可能性調査結果に基づき作成した各候補地情報でタウンミーティングを実施し、4回で105名が参加。 ・広報紙には毎月12回情報を連載し、かわらばんを2回広報誌に折込。 ・市職員に対し、整備地に相応しい候補地についてアンケートを実施。 ・R7.2、『プラザちゅうたい周辺』を整備地とする市の方針を決定。 ・令和7年市議会第1回定例会において、プラザちゅうたい敷地を整備地とする『美濃加茂市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例』は賛成8名、反対6名、退席2名という結果により否決。
効　果	新庁舎整備ロードマップでは、新庁舎整備の進め方のプロセスを定め、市民と情報を共有しながら進める指針を示している。タウンミーティングを開催し、4つの候補地の可能性調査結果をもとに、市民と各候補地のメリット、デメリットを共有した。また、調査結果をまとめた「かわらばん」を令和7年1月号の広報紙に折り込み、各戸に配布することで情報共有を図った。その結果、広報紙やホームページの活用により新庁舎整備事業の認知度は80.4%に上昇した。令和7年第1回市議会定例会において、プラザちゅうたい敷地を整備地とする条例が否決されたため、令和7年度は早期に整備地を決定することを目標に進めている。

評価分析

活動指標分析 ※目標値の達成・未達成要因	広報紙には毎月、新庁舎整備に関する情報を掲載し、情報発信に努めている。複数の候補地の決定や4候補地の可能性調査結果についても、「みんなの新庁舎かわらばん」を2回広報紙に折り込み、市民の皆さんに周知した。
ＫＰＩ分析 ※目標値の達成・未達成要因	複数回にわたるワークショップや各種団体に出張するおでかけワークショップ、そして4候補地の可能性調査結果を市民と共有するタウンミーティングによって、合計262名の市民と意見交換を行った。令和4年度のアンケート結果から、情報の取得媒体として最も多く利用されているのは広報紙であることが分かった。そのため、令和5年度より広報紙に毎月情報を掲載することを実施した。最新の情報を継続的に発信したことにより、認知度が上昇したと考えられる。
実績からR07年度の事業の方向性	令和7年市議会第1回定例会において、プラザちゅうたい敷地を整備地とする『美濃加茂市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例』は賛成8名、反対6名、退席2名という結果により否決された。今後は、市議会と新庁舎整備地を決定するための課題を共有し、それに対する対応策を提示するとともに、今後の進め方を共有した上で早期の整備地決定を目指す。整備地が決定した際には、直ちに基本計画の策定と事業手法の選定に着手する。